

J A 全農ちば 営農情報集 (11月号)

今月の情報

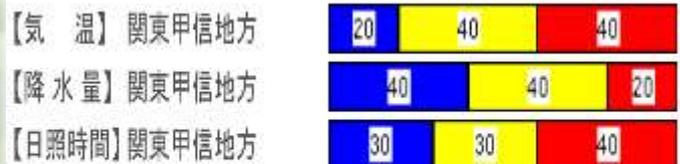
1. 令和2年産 水稻生産を振り返って
2. 園芸病害虫防除について
3. 安全な農作物生産の取り組みについて～農薬散布時の服装～
4. アザミウマ イチゴ本圃防除プログラム(天敵「アカメ」利用)

11月の気象について (気象庁 10/29 発表 長期予報 (1か月) から)

- ① 11月は平年より気温がやや高い予報ですので、作物の生育状況に注意しましょう。
- ② また11月は最低気温が10℃を下回り始める時期です。施設の暖房・露地の被覆などの管理が遅れないようにしましょう。
- ③ 病害虫の発生しやすい条件なので注意しましょう。

(長期予報 (1か月) は毎週木曜日に発表されます。週予報とともに確認し、今後の栽培管理の計画を立てましょう)

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

注意とお願い

農薬登録は掲載時点の内容です。農薬を使用する際には、最新の登録内容をご確認ください。

営農技術情報集のカラー版や、その他の営農情報は全農ちばHP内営農情報コーナーにて公開中!

全農ちばHP < <http://www.cb.zennoh.or.jp/index2.html> >

令和2年度 水稻生産を振り返って

J A全農ちば
営農支援部

令和2年産水稻 千葉県の作柄概況

関東農政局の作柄概況（10月30日公表）によると、令和2年産の作柄は10a当たり収量537kg（作況指数99、平年並み）となりました。

県全体では、穂数は「平年並み」、1穂当たりのもみ数「やや多い」となり、全籾数は「やや多い」となりました。登熟は、出穂前の日照不足・多雨と、全籾数がやや多いことから「やや不良」でした。

表1 令和2年産水稻の作柄概況

| 区分 | 平年比較 | | | | |
|------|------|-------|----------------|--------|-------|
| | 作況指数 | 穂数の多少 | 1穂当たり 籾数の多少 | 全籾数の多少 | 登熟の良否 |
| 千葉県 | 99 | 平年並み | やや多い | やや多い | やや不良 |
| 京葉 | 100 | 平年並み | 平年並み | やや多い | 平年並み |
| 九十九里 | 99 | 平年並み | やや多い | やや多い | やや不良 |
| 南房総 | 98 | やや少ない | やや多い | やや少ない | 平年並み |

*農林水産省関東農政局 農林水産統計より

1. 育苗期

- ・ 昨年の台風等の影響により、新設・被覆を張り替えた育苗ハウスでは、高温による被害や細菌性病害の発生も見られました。

2. 移植期から分けつ期

- ・ 移植後の生育は「平年並み」で推移しましたが、4月の早い時期の移植では強風・低温・雹の影響を受けて生育はやや遅れ気味となった圃場もあり、地域により生育のバラつきが見られました。
- ・ 昨年の刈り取り以降、降雨が多く、稲ワラの腐熟が進まなかったため、還元障害(ガス害・ワキ)による苗活着の遅れや分けつ発生の遅れが散見されました。

3. 幼穂形成期から出穂期

- ・ 6月に入ると気温・日照ともに高かく推移し、生育は全体的に旺盛となりました。
4月20日植え「コシヒカリ」は6月21日頃から幼穂形成期を迎え、5月1日植えの「コシヒカリ」は6月27日頃(平年より4日早い)に幼穂形成期を迎えました。
- ・ 昨年と同様に、7月中旬以降は低温、日照不足となり、全体的に生育が遅れました。

4. 出穂後から成熟期

- ・特に出穂期の早かった早生品種は低温と日照不足の影響を強く受けて生育は遅れました。また、低温・多雨により「いもち病」が発生して、収量へ影響が出た地域もありました。しかし、早生品種における斑点米カメムシ類の被害は少ない傾向でした。
- ・8月に入ると日照・気温は高く推移し、9月上旬以降に刈り取った「ふさこがね」や「コシヒカリ」の収量は例年並みとなりましたが、斑点米カメムシ類による被害粒や、急激な温度上昇や給水不足による「胴割米」や「白未熟粒」が発生した地域もありました。

5. 次作に向けて

- ・昨今の気象の極端化に対応し、登熟向上をはかるため、「ケイ酸」が改めて注目されています。稲ワラ腐熟促進と合わせて、土づくりを積極的に実施しましょう。

表2 秋に使用する土づくり肥料の特徴と使用方法

| 目的 | 肥料名 | 施用量(10a) | 特徴 |
|----------|----------------------------------|----------|---|
| 稲わらの腐熟促進 | 石灰窒素 (窒素 20%) | 10～20 kg | 有機物を腐熟する微生物の増殖に必要な窒素と、分解する働きを良くする石灰が含まれているので効果的。 |
| | アグリ革命アクア | 100ml | 酵素により、稲ワラの腐熟化を促進。 液剤はオモダカ・クログワイなど難防除雑草対策の秋防除除草剤と混用可。 |
| | アグリ革命 | 2kg | |
| けい酸の補給 | 農力アップ (けい酸 20%) | 3～5袋 | 従来のけい酸質資材と比較して利用効率が良いため、2～3分の1で効果を発揮。 |
| | ケイカル (けい酸 30%) | 5～10袋 | 水には溶けず、水稻の根からでる有機酸に溶けて吸収されるので秋施用が効果的。 稲体の抵抗カアップに貢献。 |
| りん酸の補給 | 苦土重焼りん (りん酸 35%・ けい酸 9.4%) | 2袋 | 火山灰土壌や基盤整備圃場等には、く溶性りん酸を含んだ苦土重焼りんが効果的。 |

作成：古内

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1 はじめに

気温が下がり、施設栽培では保温のため夜間締め切る時期になりました。千葉は11月になると最低気温が10℃を下回り始めますので、管理には注意しましょう。今年の秋冬作では特段病害虫の多発は見られておりませんが、天候に注意し発生が懸念される場合は事前に防除を行いましょう。

2 果菜類（灰色かび病）

薬剤防除を行う前に、耕種的防除を徹底しましょう。

(1) 除湿

灰色かび病は低温（15～20℃）と多湿を好みます。夜間ハウスを閉切る時期では、湿度が高まり灰色かび病が発生しやすくなります。除湿のために、天窓換気・暖房機による早朝加温・空運転等を実施しましょう。また薬剤散布はなるべく午前中に行い、ハウスを閉めるまでに薬液が乾くようにしましょう。

(2) 施設圃場の管理

灰色かび病は、咲き終わった花卉・枯れた葉等に寄生してから、健全な部位へと移っていきます。果実に付着した花卉や枯れ葉が残っていると、灰色かび病の発生源になります。同様に灰色かび病の発病した葉や果実も通路に放置せず、必ずハウス外へ持ち出し処分しましょう。



発生源となる咲き終わった花卉



樹幹に発生すると被害が大きい



通路に残さを放置しない

○大玉トマト 灰色かび病 防除薬剤

| 対象病害 | FRACコード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|-------|---------|---------------|------------|------|------|-------|
| 灰色かび病 | M7 | ベルコートフロアブル | 2000～4000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防 |
| | 9 | フルピカフロアブル | 2000～3000倍 | 収穫前日 | 4回以内 | 予防 |
| | 7 | アフェットフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防 |
| | 12 | セイビアーフロアブル 20 | 1000～1500倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防 |
| | 1+10 | ゲッター水和剤※ | 1000～1500倍 | 収穫前日 | 5回以内 | 予防・治療 |

○キュウリ 灰色かび病 防除薬剤

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|-----------|-------------|---------------|------------|------|------|-------|
| 灰色 かび病 | M7 | ベルコートフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 7回以内 | 予防 |
| | 9 | フルピカフロアブル | 2000~3000倍 | 収穫前日 | 4回以内 | 予防 |
| | 7 | アフエットフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防 |
| | 12 | セイビアーフロアブル 20 | 1000~1500倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防 |
| | 2+10 | スミブレンド水和剤※ | 1500~2000倍 | 収穫前日 | 5回以内 | 予防・治療 |

3 トマト（うどんこ病）

- (1) 表生型（*Oidium neolycopersici*）、内生型（*Oidiopsis* sp.）の2種類があります。内生型は菌が葉の内部に広がるので防除が難しく、被害も長期化します。
- (2) 内生型は適温 18~25℃、感染~発病まで 16~21 日ほどで、発病まで長期間かかります。発生してからの防除では後手にまわってしまうため、予防が重要です。
- (3) 内生型は主に葉裏の気孔から侵入するので葉裏まで薬剤がかかるよう散布しましょう。

○トマト うどんこ病  ・葉かび病  ・すすかび病 

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|-----------|-------------|----------------|------------|------|------|-------|
| う | 9+U13 | ショウチノスケフロアブル※ | 2000倍 | 収穫前日 | 2回以内 | 予防・治療 |
| | 3+U6 | パンチョ TF 顆粒水和剤※ | 2000倍 | 収穫前日 | 2回以内 | 予防・治療 |
| う・葉・ す | M7 | ベルコートフロアブル | 2000~4000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防 |
| | 7 | アフエットフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防 |
| | 7+11 | シグナムWDG | 2000倍 | 収穫前日 | 2回以内 | 予防・治療 |

※ショウチノスケはガッテン乳剤とフルピカフロアブル、パンチョはトリフミン、シグナムはカントスドライフロアブルとの混合剤のため総使用回数に注意

4 ネギ（黒斑病・べと病）

病害は多湿の条件を好むので、長い降雨の前後には防除が必要です。また夜間にもや・霧が発生すると同じく多発の原因となります。降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ剤を使用しましょう。

- (1) 黒斑病
葉身に輪紋状の病斑が発生します。台風・降雨のほか、草勢が低下しても発生しやすいため、肥料切れ等に注意しましょう

- (2) べと病
葉身が黄色くぼやけ、灰暗色~茶褐色のカビがみられます。やがて被害部から葉が折れてしまいます。水により蔓延するので降雨、モヤ、霧の後に発生しやすいです。



○ネギ ベと病・さび病・黒斑・葉枯病

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|---------------|-------------|--------------|----------------|--------|------|-------|
| べと病 | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤※ | 1000倍 | 収穫14日前 | 3回以内 | 予防・治療 |
| | 4+M3 | リドミルゴールドMZ※ | 1000倍 | 収穫30日前 | 3回以内 | 予防・治療 |
| 黒斑病 | 2 | ロブラール水和剤 | 1000～ 1500倍 | 収穫14日前 | 3回以内 | 予防・治療 |
| 黒斑・さび | 3 | オンリーワンフロアブル | 1000倍 | 収穫14日前 | 3回以内 | 予防・治療 |
| べと・さび 病・黒斑 | 11 | アミスター20フロアブル | 2000倍 | 収穫3日前 | 4回以内 | 予防・治療 |
| | | メジャーフロアブル | 2000倍 | 収穫前日 | 3回以内 | 予防・治療 |

※プロポーズはダコニール、リドミルゴールドMZはペンコゼブとの混合剤なので総使用回数に注意

5 キャベツ（べと病・菌核病）

菌核病は外葉（下葉）がしおれ、葉の軸を伝って株元までがやわらくなり、白いカビが発生します。2月以降になると結球部まで被害が進みます。秋季に防除を行いましょう。



べと病



菌核病 下葉・株元のカビ

○キャベツ ベと病・菌核病 防除薬剤

| 対象病害 | FRAC コード | 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|------|-------------|--------------|------------|--------|------|-------|
| べと病 | 40+M5 | プロポーズ顆粒水和剤 | 1000倍 | 収穫14日前 | 2回以内 | 予防・治療 |
| | 4+M3 | リドミルゴールドMZ | 1000倍 | 収穫30日前 | 3回以内 | 予防・治療 |
| 菌核病 | 12 | セイビアーフロアブル20 | 1000倍 | 収穫3日前 | 3回以内 | 予防 |
| | 2 | ロブラール水和剤 | 1000倍 | 収穫7日前 | 4回以内 | 予防・治療 |
| | 11 | ファンタジスタ顆粒水和剤 | 2000～3000倍 | 収穫3日前 | 3回以内 | 予防・治療 |

作成：名雪

安全な農作物生産の取り組みについて

☆農薬散布時の服装☆

J A全農ちば
営農支援部

1. 農薬事故について

毎年、数十件農薬に関する事故が発生しています。その中でも農薬散布時に防護服やマスクを着用していなかったために発生する事故も散見されます。農林水産省平成29年の調べでは、農薬事故21件中6件(28.5%)が服装装備の不十分に起因した事故になります。農薬のラベルにも薬剤ごとに注意事項が記載がされていますので、内容に従って保護具を着用しましょう。

2. マスクについて 薬剤・用途に応じ選択

農薬を散布すると、散布液の粒子が飛散し、皮膚、鼻、口から体内に入り込む恐れがあります。マスクは何種類かありますので、農薬の剤型などに従い適切なマスクを着用しましょう。

- (1) 農薬用マスク・・・国家検定合格の使い捨て式防塵マスク。農薬の粉剤および液剤を散布するときに使用します。農薬用マスク（使い捨て式防塵マスク）は原則使い捨てです。
- (2) 防護マスク・・・国家検定合格のフィルタ取替え式防塵マスク。急性毒性の高い農薬（粉剤、液剤）を使用するときに使用します。
- (3) 吸収缶付防護マスク（土壌くん蒸剤用）・・・国家検定合格の有機ガス用の吸収缶のついた防護マスクです。クロルピクリン、D-Dなどのガス化（気化）し易い農薬の散布時に使用します。吸収缶には種類がありますので間違いのないようセットしてください。

3. 服装について 肌を露出しない、目・鼻・口を守る

農薬の使用時は、防除衣やマスク、ゴーグル、メガネ、手袋、長靴などの保護具を着用しましょう。

- ①散布時だけでなく農薬調合時から保護メガネ・マスク・手袋を着用。
- ②帽子等を着用。
- ③長袖、長ズボンの防除衣を着用。
- ④農薬の剤型に適したマスクを着用する。
- ⑤保護手袋をする。
- ⑥長靴を着用する。



作成：名雪・田代

※用紙を横にしてご覧ください。

アザミウマ イチゴ本圃防除プログラム(天敵「アカメ」利用)

ヒラズハナアザミウマ対策の天敵農薬を利用した際の防除資料です。詳細につきましては、JA全農ちば営農支援部までお問い合わせください。

天敵「アカメ」

使用のいちごアザミウマ防除情報(本圃)

・天敵と化学農薬の総合防除の処方箋です。詳細はいちご総合防除プログラムをご参照ください。



| | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|------|
| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月以降 |
|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|------|

9月中旬 定植

10月中旬 花子開花

害虫防除

12月 収穫開始

天敵放飼時期

害虫防除

【防除判断、物理的防除】
 ・防虫ネット設置(網目.5mm以内)
 ・捕殺:ホリバーニール 100枚 ~400枚/10a設置

【11月第1週】・「アピート」顆粒水和剤 2000倍(口ナシラシ・アツラシ)・【11月第2週、第3週】・「アザミウマ」2000倍(アツラシ)・【アゼンゾク】*種をアザミウマ防除ホリバーニールです。



11月以降の病害防除

【11月】ハルケートフロアブル2000倍(炭そ病、うどんこ病、灰色かび病) ネットアクトフロアブル1000倍(うどんこ病、灰色かび病) セビフロアブル1000倍(炭そ病、灰色かび病)
 【12月】ロフラー水中和剤1500倍(灰色かび病) ノリシ水中和剤3000倍(うどんこ病)
 【12月】ネクスターフロアブル1000倍(うどんこ病、灰色かび病) ハルケートフロアブル2000倍(うどんこ病、灰色かび病) ラミツ顆粒水和剤1000倍(うどんこ病、灰色かび病)
 【3月】ハルケートフロアブル2000倍(うどんこ病、灰色かび病) マスター20フロアブル1500倍(うどんこ病、灰色かび病) ラミツ顆粒水和剤1000倍(うどんこ病、灰色かび病) 2回散布
 【4月】マスター20フロアブル1500倍(うどんこ病、灰色かび病) 【5月】ロフラー水中和剤1500倍(灰色かび病) ハルケートフロアブル2000倍(うどんこ病、灰色かび病)

【2月第1週:2週】
 ・アタフロンスC 2000倍 (アツラシ・アゼンゾク)
 【2月第1週】
 ・アタフロンスC 2000倍(アツラシ)
 【2月第4週】
 ・スターネットフロアブル 2000倍(ホコダニ)

【4月第2週】
 ・ケルーンアクトフロアブル 2000倍(アツラシ、アゼンゾク)
 【4月第3週】
 ・アピートフロアブル 1000倍(ホコダニ)
 【5月第1週】
 ・アピートフロアブル 5000倍(アツラシ)
 【5月第2週】
 ・アピートフロアブル 2000倍(アツラシ、アゼンゾク)

天敵「アカメ」放飼
2月第3週5000頭×3本を10/aに放飼してください。

*アカメ:アザミウマを捕食する天敵「アカメ」シロクダアザミウマです。
 *アカメ放飼方法:紙束を適当の間隔で接着に吊り下げて放飼してください。
 *アカメへの影響:A:アタフロンスC、スターネットフロアブル、B:アピートフロアブル、C:アタフロンスC

放飼方法

紙束を適当の間隔で接着に吊り下げて放飼してください。